（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	松本平のエネルギー自立地域形成推進事業
事業主体 （連絡先）	松本平ゼロカーボン・コンソーシアム （松本市旭 3-1-1　信州大学グリーン社会協創機構内）
事業区分	（５）環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	４４７，８３４円（うち支援金：３５８，０００円）

事 業 内 容

ゼロカーボンの実現は社会システムの根本的変革を必要とするものであり、市民や事業所の個々の努力だけでは目標への到達が難しい。このため、広く松本地域の産学官の力を結集させ、学びあいと相乗効果のある実践を通じた課題解決に取り組みをステップアップさせ、地域性と事業性とが両立したエネルギー自立地域の形成が促進される事業の展開を支援。

・共通の知識基盤の整備のため、定例フォーラムを開催：４回でのべ 599 人が参加
・共同的実践のテストベッドの構築のため、再エネ、省エネ建造物、モビリティの 3 課題別部会を開催：のべ 111 名が参加

【定例フォーラム】

事 業 効 果

①MZCC 会員の連携による再エネ事業化検討および着手事例が少なくとも 4 件確認、会員事業所における省エネ改修の検討に 2 件着手、会員事業所の EV 化検討を 4 件実施。計 10 件の具体的取り組みが進んだ。

②R4 年末の会員数は 115 社・団体であったが、R5 年度中の入会数 16 社・団体（うち 8 社・団体が地域内所在）。R6 年 2 月時点での会員数は 125 社・団体へと成長させることができた（R5 年度中の退会 6 社）。

【目標・ねらい】

①共同的実践を展開するテストベッド 3 地点構築
②会員を 130 社に増加、新入会員の 7 割以上を地域内所在とする

※自己評価【Ｂ】

【理由】
・課題別部会の取り組みを通じてさまざまなテストベッドの構築が進んだ。3 地点→10 事例。
・目標会員数にはわずかに及ばなかったが、商工会議所・商工会との連携が必要と認識できた。

今後の取り組み

令和 6 年度中には MZCC 会員が関わる形で地域エネルギー事業会社が設立される見込みであり、地域主導型のエネルギー事業の展開が加速されることが期待できる。市町村の垣根を超えた広域の地域脱炭素プラットフォームとして、令和 5 年度には上伊那で「上伊那ゼロカーボン・プラットフォーム」が設立されるなど他地域にも波及効果を生み出しつつある。松本平ゼロカーボン・コンソーシアムの協働の環に加わる団体・企業を着実に増やし、様々な業種、世代の交流を加速させることで、世界的課題への取り組みを先導しつつ、市民の生活をより豊かで快適に、地域の産業をより活力ある姿に変貌させていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある